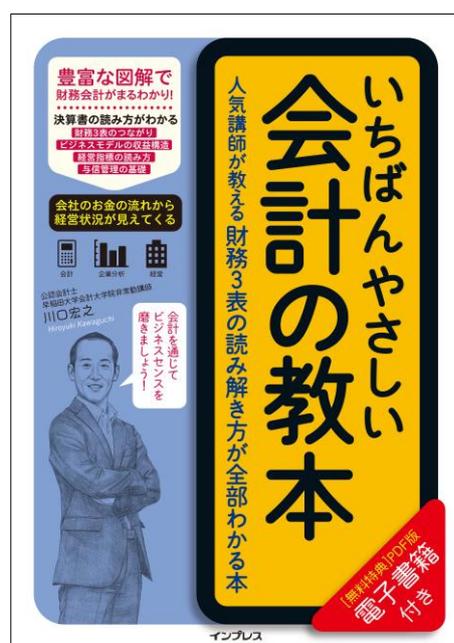


各 位

2018年11月22日
株式会社インプレス

あらゆるビジネスシーンで役に立つ「会計スキル」がしっかり身につく
新刊『いちばんやさしい会計の教本 人気講師が教える財務3表の読み方が全部わかる本』
11月22日発売
発売記念キャンペーンも実施

インプレスグループでIT関連メディア事業を展開する株式会社インプレス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：小川 亨）は、豊富な図解と事例によって財務3表の読み方をわかりやすく解説した新刊『いちばんやさしい会計の教本 人気講師が教える財務3表の読み解き方が全部わかる本』を2018年11月22日（木）に発売します。また発売を記念し、全文公開と、早期にご購入いただいた方に向けた特典ダウンロードキャンペーンを期間限定で実施します。



※全文公開キャンペーン 2018年11月22日（木）～2018年12月4日（水）

URL：<http://impress.tameshiyo.me/9784295005025>

※早期購入キャンペーン 2018年11月22日（木）～2018年12月21日（金）

URL：<https://book.impress.co.jp/books/1118101028>

■「会計スキル」を磨けば、仕事のさまざまなシーンで役立つ

毎年決算期になるとビジネスニュースや経済紙にぎわす、有名企業の業績に関する話題。こうしたニュースをより深く理解するために必要なのが「会計」の知識です。逆にいえば、会計の知識があれば、会社の財務3表を分析し、なぜそうなったかを自分の力で読み解けるようになります。こうした会計の知識を用いた分析力——「会計スキル」はさまざまな場面で役立ちます。たとえば財務3表を読み解くことで、取引先の企業が抱えている課題が見えてきます。また、自分の会社の経営実態を把握できれば、事業戦略の理解も進み、日々の業務に優先順位をつけて邁進できるでしょう。もちろん、ビジネスニュースもこれま

で以上に深読みできるようになります。

■財務3表を図にして理解する

本書では、財務3表（貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書）から見るべき数字だけをピックアップし、それを図にして解説します。図にすることで、金額の大小がひと目で理解できるだけでなく、分析のプロセス自体がシンプルになります。財務3表それぞれを図にしていく過程で、会計の知識が無理なく自然に身についていきます。

■事例を通じて経営分析や与信管理のやり方がよくわかる

会計スキルを磨くには、実在する会社の財務3表を読み解くのがいちばんです。本書では、業界ごとに、実在する複数の会社をピックアップして、実際の財務3表から業績の裏側を読み解きます。また、取引を行ううえで重要な「与信管理」の仕組みについても解説しているので、基本から実践まで知りたいという人にも最適な内容になっています。

■発売記念キャンペーンを実施

書籍の発売を記念して、「全文公開キャンペーン」と「早期購入キャンペーン」を実施します。

<全文公開キャンペーン（2018年11月22日（木）～2018年12月4日（水））>

発売後2週間の期間限定で、書籍全文を公開します。上記期間中、下記URLにアクセスすれば試し読みしていただけます。

URL：<http://impress.tameshiyo.me/9784295005025>

<早期購入キャンペーン（2018年11月22日（木）～2018年12月21日（金））>

発売から1か月以内にご購入いただいた方に、書籍の内容と連動した著書本人による解説動画をプレゼントいたします。詳細については下記URLをご参照ください。

URL：<https://book.impress.co.jp/books/1118101028>

Lesson 09 **貸借対照表を構成する3つのカテゴリ**

財務3表のうち、「貸借対照表」の基本構成を見ていきましょう。貸借対照表を読み解くポイントは、「資産」「負債」「純資産」という3つのカテゴリに分けて考えることです。この3つの内容をしっかりと理解しましょう。

このレッスンのポイント

Chapter 3 貸借対照表を3つのカテゴリに分ける

○ 貸借対照表を3つに分解する

貸借対照表は、会社がどんな財産をどのくらい持っているのか、債務をどのくらい負っているのか、そして正味の財産はいくらなのかを表す一覧表です。一見すると数字の羅列のように感じるかもしれませんが、図にするとポイントが見えてきます。そのポイントとは、貸借対照表は大きく3つのカテゴリに分かれるということです。具体的には、「資産」「負債」「純資産」です。これを図に置き

なおすと図表09-2のようにになります。図にすると、「資産の部」を左側に、「負債の部」と「純資産の部」を右側に置きます。「資産の部」では「資産合計」の金額、「負債の部」では「負債合計」の金額、「純資産の部」では「純資産合計」の金額に注目して、それぞれの金額の大小と対応するサイズのボックス図にします。

基本用語の意味 図表09-1

貸借	貸借（たいしゃく）とは、一般的にはお金の貸し借りのこと。会計上は「借方（かりかた）」や「貸方（かしかた）」という簿記で使われる仕訳の左側と右側のことを指す。貸借対照表は、資産（借方・左側）と負債及び純資産（貸方・右側）を照らし合わせた表といえる。
財産	財産とは、所有しているお金、物品、不動産などのこと。[人財産]という考え方もあるが、会計上は社員は数値（お金）に換算できないため、財産（資産）には載らない。
債務	債務とは、相手方にお金を引き渡さなければならない義務のこと。会計上は、銀行への借入金返済や取引先への代金支払いなど、お金の引き渡しを中心とする。

一般的な使われ方と会計上の使われ方で意味が異なる場合があるので、きちんと把握しておこう

034

▶ 貸借対照表を3つのカテゴリに分ける 図表09-2

（単位：百万円） 当連結会計年度 （2018年9月30日）		（単位：百万円） 当連結会計年度 （2018年9月30日）	
資産の部		負債の部	
流動資産	17,865	流動負債	8,895
現金及び預金	1,730	支払手形及び買掛金	3,840
受取手形及び売掛金	14,587	1年内返済予定の長期借入金	3,840
商品	2,475	未払金	3115
未収入金	2,475	未払法人税等	519
流動資産合計	36,659	買与引当金	676
固定資産	—	流動負債合計	17,047
有形固定資産	7,152	固定負債	—
建物及び構築物	2,671	長期借入金	8,630
土地	2,671	繰延税金負債	2,950
有形固定資産合計	9,824	固定負債合計	11,581
無形固定資産	—	負債合計	28,629
ソフトウェア	562	純資産の部	—
無形固定資産合計	562	株主資本	—
投資その他の資産	—	資本金	6,195
投資有価証券	681	資本剰余金	6,403
敷金及び保証金	10,282	利益剰余金	19,306
投資その他の資産合計	10,964	自己株式	△2,689
固定資産合計	21,331	株主資本合計	29,216
資産合計	57,990	その他の包括利益累計額	—
		その他の包括利益累計額	54
		その他の包括利益累計額	54
		新株予約権	90
		純資産合計	29,360
		負債純資産合計	57,990

この図では「資産合計」が「57,990」、「負債合計」が「28,629」、「純資産合計」が「29,360」なので、右側のような比率のボックス図になる。

この図の構成のことも、以降「ボックス図」と呼びます。

※百万円未満の端数を切り捨てている箇所。合計金額や差引金額が合わない場合があります。

Chapter 3 貸借対照表を3つのカテゴリに分ける

035

豊富な図をもちいて、丁寧に解説しています。

■目次

- [CHAPTER 1] 「会計」はビジネスに必須のスキル
- [CHAPTER 2] 財務諸表の全体像を知ろう
- [CHAPTER 3] 貸借対照表で会社の安全性を知る
- [CHAPTER 4] 損益計算書から会社の収益力を読み解く
- [CHAPTER 5] キャッシュ・フロー計算書で会社のお金の動きをつかむ
- [CHAPTER 6] 財務3表の関係を理解する
- [CHAPTER 7] 財務3表を組み合わせた分析指標
- [CHAPTER 8] ビジネスに欠かせない取引先分析の手法
- [CHAPTER 9] 会計スキルを磨く情報収集術

■書誌情報



書名：いちばんやさしい会計の教本

人気講師が教える財務3表の読み解き方が全部わかる本

著者：川口宏之

発売日：2018年11月22日（木）

ページ数：224 ページ

サイズ：A5 判

価格：本体 1,600 円＋税

電子版価格：1,440 円＋税 ※11月発売予定 ※インプレス直販価格

ISBN：978-4-295-00502-5

◇書誌情報：<https://book.impress.co.jp/books/1118101028>

◇書影ダウンロード：<https://dekiru.net/press/500502.jpg>

■著者プロフィール



川口宏之

公認会計士 早稲田大学会計大学院非常勤講師

監査法人トーマツにて上場企業の会計監査業務に従事。その後、国内大手金融グループ系証券会社にて IPO の引受審査業務、IT ベンチャー企業の取締役兼 CFO、独立系の会計コンサルティング会社での各種コンサルティングなど、多方面での実務経験を有する。

現在は、多数の上場企業の社員研修や各種団体主催の公開セミナーなどで、精力的に講師活動を行っている。

「会計」という一見とっつきにくいテーマを、図解でわかりやすく説明することに定評があり、受講者満足度は毎回非常に高い人気講師。

著書に『決算書を読む技術』『決算書を使う技術』（共にかんき出版）がある。

<http://kawaguchihroyuki.com/>

以上

【株式会社インプレス】 <https://www.impress.co.jp/>

シリーズ累計 7,000 万部突破のパソコン解説書「できる」シリーズ、「デジタルカメラマガジン」等の定期雑誌、IT 関連の専門メディアとして国内最大級のアクセスを誇るデジタル総合ニュースサービス「Impress Watch」等のコンシューマ向けメディア、「IT Leaders」、「SmartGrid ニュースレター」、「Web 担当者 Forum」等の企業向け IT 関連メディアブランドを総合的に展開、運営する事業会社です。IT 関連出版メディア事業、及びデジタルメディア&サービス事業を幅広く展開しています。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：唐島夏生、証券コード：東証1部 9479）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「旅・鉄道」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

【本件に関するお問合せ先】

株式会社インプレス 広報担当：丸山

TEL：03-6837-5034 E-mail: pr-info@impress.co.jp URL： <https://www.impress.co.jp/>